

Road



兵庫県立相生高等学校
第41回生 第2学年 学年通信
平成30年4月18日(水) 16章

学年団からのメッセージ

2年生が始まり1か月が過ぎようとしています。いいスタートが切れているでしょうか？何事も出だしが肝心です。頑張りましょう。学年通信「ROAD」16章は新しい学年の始まりにあたり、学年の先生方から頂いたメッセージを掲載します。

平成30年度 41回生 学年団



1組担任 岩井裕子

本年度より41回生学年団に加わりました、岩井です。41回生としての振る舞いについては、みんなの方がよく知っているの、いろいろと教えてくださいね。

2学年は、高校生活の中でも一番、多方面にわたって充実させることができる時です。学業面だけでなく、学校行事、そして部活でも一学期で先輩が引退すると中心的な立場になり、より一層力を発揮できるでしょう。それらは一人ではできません。特に、勉強・行事に関しては、クラス一丸学年一丸となって、嬉しいときも辛いときも分かち合い支え合いながら、成長していきましょう。

2組担任 藤岡裕介

私の一番好きな野球の監督は元ヤクルトの野村克也さんです。その野村監督が「優勝は、強いが弱いよりも『ふさわしい』かどうかで決まることが多い。」とっている。夢や目標を達成できるかどうかはふさわしいかどうかで決まるということです。では何を持ってふさわしいか？成功者には共通点がある。①願望を燃やし続けている。②現状に満足せず、次々と高いレベルを目指す。③逆境でも楽天的でいられる精神力。④計画性・・・全部で15の共通点がありますが、後々・・・そんな過程を大切に成功に『ふさわしい』人物で誰からも愛され応援される人になってください。期待しています！

3組担任、副主任 猶原正通

みなさんは「バタフライ効果」という言葉を知っていますか？「ブラジルで蝶が羽ばたけば、そこから遠く離れたテキサスでトルネードが起こる」というものです。本当か？という話ですが、「小さな要素の組み合わせでもバクトルの向きが合わされば未来や周囲に大きな影響を与える可能性がある」というものです。勉強、学校行事、クラブ活動で今年度は一人一人が小さな羽ばたきを起こしてみましょう。たとえ小さな事の積み重ねであってもそれがクラスや学年の周囲に広がり、ひいては将来の自分に大きな結果となって表れるはずですよ。

4組担任 米光歩美

41回生のみなさん、進級おめでとうございます。今年もあなたたちに関わることができて心から嬉しく思います。さて、昨今の頃はどんな気持ちだったのでしょうか。まだ新しい制服を着てこれから始まる高校生活にどきどきしながら相高坂を上っていたのではないかと思います。「毎日このきつい坂を上るのか…」と思っていた人もいると思いますが、今ではこの傾斜にも慣れたことと思います。しんどくても毎日コツコツ続けていれば、「それをするのが当たり前」になり、気付いたらハードルを超えているというものです。

41回生のみなさんは何事にも一生懸命で素直なところが持ち味だと思います。とうとうあなたたちにも後輩ができます。先輩になる準備はできていますか？今クリアしている高さのハードルに満足することなく、地道に毎日コツコツ続けてみてください。すぐには結果がでなくても、頑張っている人の回りには必ず応援してくれる人が集まってきます。困ったときはいつでも相談してください。(困ってなくてもたくさん話しかけてください。私からも話しかけます。)一年間一緒に頑張ってください。

5組担任 小西真介

41回生が2年生になり、1年生の時より確実に成長していると思う。しかし、その成長の仕方は人により異なる。何事も謙虚にとらえ、学習・部活動はもちろん、人としても大きく成長してほしい。成長するためには、口先でものを言っただけではなく、態度・姿勢を伴うことで成長の証を示して欲しい。何事にも積極的に目標を持った行動を起こしてくれることを期待している。

最後に、受け身になっては何事も始まらず、きっかけすら逃してしまう。行動を起こすからこそ何らかの反応があることを十分に理解し、充実した2年生を送ってください。

学年副担任 篠塚久美

どんな決意を持って2年生に進級しましたか？

学年集会で「もっとどん欲に勉強してほしい」というようなことを話したことがありましたね。覚えてくれていますか？ あなたたち41回生は本当に素直でまじめで一生懸命に色々なことに取り組んでいます。その姿勢は2年生でも忘れずにいてほしいと思います。そこにプラスしてほしいのが、「どん欲さ」です。今の自分の現状に甘えることなく、さらに自分の可能性を広げるために努力してほしいと思います。

何事に対しても一生懸命取り組める41回生、今年も頑張りましょう。

学年副担任 北垣翔大

41回生の皆さん、初めまして。この度、臨時講師としてお世話になることになりました、北垣です。担当教科は化学で、主に2年生の化学を担当するとともに、副担任として2年生の学年団に入ることになりました。よろしくお願いします。ついこの間まで学生だったので、まさに右も左もわからないといったところで、期待と不安が入り交じった気持ちですが、やる気だけはあります(笑)これからの成長著しいであろう皆さんに負けないように僕も頑張りますので、ともに成長していきましょう！

皆さんの入学から1年生修了まで、41回生の担任としてサポートしていただいた濱田先生、森岡先生、平地先生が今年度をもって学年から去られました。丁寧な授業、きめ細やかな心配りのある先生方でした。いろいろな所でサポートしていただきました。各先生方から君たちへのメッセージをいただきます。以下に掲載します。

「攻める姿勢で学べ！」

濱田 英美子

3学期の終業式に校長先生がおっしゃったことを、あなた達は覚えているでしょうか。校長先生は、AIの発達と人間の職業について話をされた後、次の様に言われました。現代を生き抜くには、一つには基本的で汎用性のある学力を身につけることが必要であること、また私たちは生涯にわたって学び続ける姿勢を持たなければならないこと。あなたたちには、ぜひこの一年間で基本的な学力をしっかりとつけて欲しい。「今しかない！」という攻めの姿勢を、常に意識して過ごして欲しい。

これを読むあなた達のうち、何人が1月進研模試の解き直しを完了したか考えると、不安はぬぐえませんが、ぜひ、自分の苦手な科目にも果敢に向きあって！自分の実力よりも少しレベルの高い問題に手を伸ばして！攻める姿勢でこの一年間を過ごしてくれることを切に願います。

一方で私は、これまでと違う世界で少し違う仕事をしてきます。生涯にわたって新しいことを学ぶ姿勢を持ちなさい、ということですね。元気な顔で、またあなた達全員と会える時が来るのを切に願っています。最後に、私の分まで修学旅行を楽しんでおいでね。みんな怪我なくスキーを楽しんで帰ってくることを、遠くから祈っています。では、またね。

「頑張ってください」

森岡 将太

41回生の皆さん、お久しぶりです。広島に移動してから幾日か経ちましたが、皆さんと同じ立場で、めまぐるしい学生生活を送っています。

今思い返してみると、教員生活最後の年に41回生の皆さんに関われたことは、私にとって本当に幸福でした。やりとりをする中で、「なんて素直な生徒達なんだ」と思ったことを覚えています。その素直さがあれば今後の学生生活も大丈夫です。今後進路のこと等で色々悩むこともあると思います。様々な選択が迫られる機会もあると思いますが、迷ったらとりあえずやってみる、という前向きな気持ちを持ち続けてください。「素直さ」や「前向きな明るさ」「行動力」は自分の道を自分で切り開いていく際、最大の武器になると確信しています。皆さんが幸せな人生を歩まれることを広島から願っています。頑張ってください！（私も勉強頑張ります笑）

「41回生のみんなへ」

平地 悦子

2年生が始まりました。気持ちを新たに取り組みしていますか？41回生のメンバーは素直で人なつっこい生徒がとても多く、私はとっても好きなので、今回みんなと離れるのがとても悲しいし、寂しいです。ただ、私は転任される先生方と違って、この相高でみんなのことは見たり、聞いたりできます。「〇〇君よく頑張ってる」とか「〇〇さんすごく活躍した」とか、2年生の学年団の先生方から聞くことができるのを楽しみにしています。

2年生は学校を引っ張っていく学年なので、各行事も楽しみです。この一年間相高で過ごして、反省点・自分に足りない所がみんなあったと思います。今年は去年の自分を必ず超えられるように、自分のために努力してください。私も新入生を迎えるので、気持ちを切り替えてしっかり頑張ります。お互い頑張りましょう！！

